

民主

PRESS MINSHU

号外

民主党東京都府中支部 活動特集号

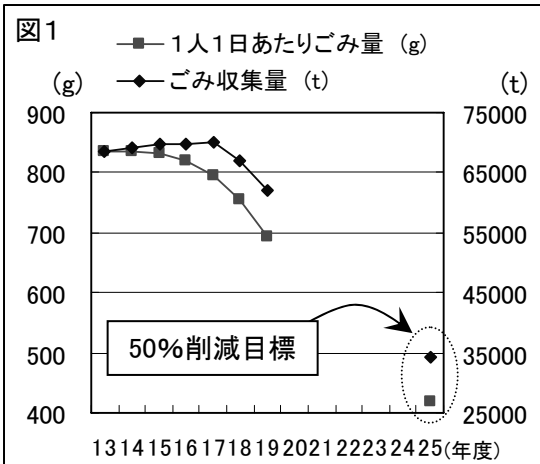
民主党東京都府中支部
〒183-0023
東京都府中市宮西町 2-14-5
萬作ビル 302

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988



通常号定価 1部 200円
年間購読料 3000円(送料込) (第1・第3金曜日発行)

府中市民は17%もごみを減らしています

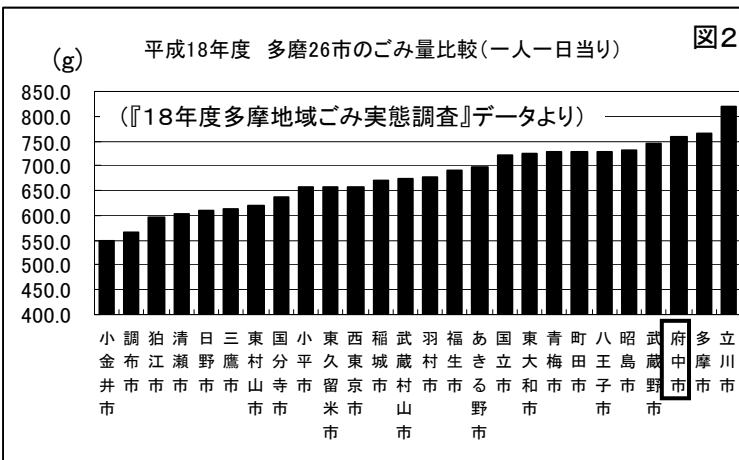


「市民の声を聴く会」が開かれています

民主党府中では、昨年の議会活動の中でも、また今年1月の市長選の政策協定においても、ごみ問題について、もっと市民の声を聞くよう求めてきました。その結果、市の主催でこの6月から「市民の声を聴く会」が市内各地で開かれています。「聴く会」では、まず市から現状説明があり、次に意見交換になります。

ごみが減らないというが・・・

市の現状説明の中では、ダストボックスがあるのでごみが減らない、という説明がされています。しかし図1のように、じつは市民の皆さんのここ数年の努力により、平成13年度基準値に比べ、ごみ収集量で9.4%、1人1日あたりのごみ量では17%も減っています。「聴く会」ではこの事実が伝えられていません。



プラスチックを分別しているが・・・

さらに「聴く会」で配布される資料の③のグラフ(図2)で、府中市のごみ量はワースト3位だとの説明がされます。しかし、このデータにある府中市のごみ量にはプラスチックが含まれていますが、調布市など他市のデータには含まれていません。

ごみ・タウンミーティング(民主党府中主催) 開催日程		
お問い合わせは、042-358-7010		
7/27(日)	午後6時	グリーンプラザ 7F
7/29(火)	午後7時	白糸台文化センター講堂
8/2(土)	午後6時半	西原町自治会館
8/9(土)	午後6時半	新町文化センター

つまりこの図では、皆さんが苦勞して、オレンジボックスを週別に使い分け、分別したプラスチックが、資源としてカウントされず、ごみとしてカウントされています。仮に分別分約3,000トンを引いて計算すれば、あきる野市と国立市の間ぐらいに府中市は位置します。

市民の努力で、ごみは減っているし、プラの分別も進んでいます。その点が市の現状説明の中で足りない気がします。努力の成果は成果として認めた上で、行政と市民が力を合わせて、さらなる減量と分別を目指していくべきだと私たちは考えます。

決めるのは、これから。

ごみ処理の新しい方法が決まったわけではありません。市民の意見を聴いて、これから決めていくという段階です。市政に市民の声を直接届けるチャンスですので、ぜひ、「聴く会」にご参加下さい。

民主党府中でも、ごみ問題をテーマにしたタウンミーティングを4ヶ所で開催します。より市民の立場に立った目線で、議会活動につなげていきますので、こちらもふるってご参加下さい。

「市民の意見を聴く会」(市主催) 開催日程		
宮町図書館	毎週 月・水・金(8/29まで)	午後2時
グリーンプラザ 2F	7/13(日) 7/23(水) 8/3(日)	午後7時
中央文化センター	8/6(水)	
白糸台文化センター	8/11(月)	
西府文化センター	8/8(金)	
武蔵台文化センター	7/26(土) 8/22(金)	
新町文化センター	8/8(金)	
住吉文化センター	7/12(土) 8/25(月)	
是政文化センター	7/12(土) 8/25(月)	
紅葉丘文化センター	8/6(水)	
押立文化センター	8/22(金)	
四谷文化センター	8/11(月)	
片町文化センター	7/19(土) 8/27(水)	

基地跡地の利用に地元の声の反映を

国に示す市の跡地利用計画案がまとまりました

6月市議会の「基地跡地対策特別委員会(基地対)」では、未利用状態が続いている基地跡地、つまり『府中基地跡地留保地』と、『調布基地跡地府中地区』内の「都市整備用地」(多磨駅東側)及び「病院用地」(榊原記念病院東隣)のそれぞれについて、現在の土地所有者である国(財務省)へ提示予定の跡地利用計画案が、市当局から報告されました。審議の末、基地対では計画案に関する報告を了承しました。

基地跡地問題については、市当局と国との間で、交渉が長年重ねられてきた経緯があります。今回の計画案は、そうした経緯を踏まえ、跡地の利用区分の方向性を市当局がまとめたものです。内容としては、『府中基地跡地留保地』の場合、公園緑地・研究施設・住宅地の3ゾーンに分け、整備していくこととなっています。また、「都市整備用地」では、業務系施設ゾーンを中心に、一部を住商共存ゾーンとする方針が、「病院用地」の場合は公共公益施設ゾーンとしていく考えが示されています。

市議会として 衛生研に説明を求めます

基地跡地のうち、『府中基地跡地留保地』には、国における平成元年の方針決定に基づく形で、「国立医薬品食品衛生研究所(衛生研・現在世田谷区に立地)」が移転を計画しています。

しかし、衛生研の移転予定に含まれるバイオ実験施設などに対して、住民のみなさんからは、安全性への不安の声もあがっています。今議会には、『「国立医薬品食品衛生研究所の府中移転計画について、府中市のさらなる検証と市民への情報開示等を求める要望」に関する陳情』も提出されました。慎重な審議の結果、陳情については全会一致で「継続審査」とし、基地対策特別委員会として衛生研に説明を求めることとなりました。

民主党府中としては、何よりも衛生研自身による、たゆまぬ対話努力と説明責任の遂行が問題解決の大前提との立場から、今後の議会審議等に臨んでまいります。

他の基地跡地利用についても、具体的な施設整備や誘致にあたっては、地元の声を可能な限り反映させるべきとの姿勢で、取り組んでまいります。



5月臨時議会報告

民主党府中市議団、市議会人事決まる

府中市議会では毎年5月に臨時議会を開き、議長以下の議会人事を改選するのが通例となっています。5月14・15日の両日に行われた臨時議会において、市議団4人それぞれが重要な役職を担う事となりました。

稲津けんご 監査委員	杉村康之 建設環境委員会 委員長	小山くにひこ 再開発対策特別委員会 委員長	にしみや幸一 厚生経済委員会 副委員長
---------------	------------------------	-----------------------------	---------------------------



党員・サポーター募集中!

- 民主党では活動を支えていただく、「党員・サポーター」を募集しております。党費は年間6,000円、サポーター会費は年間2,000円です。
- ★ 今年の党代表選挙の参加資格は、規定により、5月までに登録された方に限られますので、ご了承下さい。
- ◆ 詳細については、民主党東京都第18区総支部(TEL.0422-55-5500)までお問い合わせください。